

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年7月17日

施設名	高知県立県民体育館	所管課名	教育委員会 スポーツ健康教育課
-----	-----------	------	--------------------

1 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県スポーツ振興財団	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成24年3月31日
施設所在地	高知市棧橋通二丁目1番53号		
業務内容	1 施設の利用の許可等に関する業務 2 施設の利用料金の收受・減免・還付に関する業務 3 施設設備の維持管理に関する業務 4 スポーツの振興に関する業務 5 その他施設の設置目的達成に必要なと教育委員会が認める業務		
施設内容	1 面積…敷地面積10,714.08㎡、敷地面積6,094.00㎡、延床面積(1階5,757.39㎡、2階3,143.77㎡) 2 施設、収容人員等 主競技場(1階3,072席、2階1,572席)、補助競技場(2階)、室内プール(1階)、 大会議室(1階、50人)、小会議室(1階、20人) 3 利用時間…8:30～21:00(主競技場、補助競技場、大会議室、小会議室): 事前連絡により22:00まで利用可 8:30～21:00(室内プール) 4 休館日…12月29日～1月3日		
職員体制	常勤職員: 2人 定期職員: 14人 短期職員: 3人 合計: 19人 (平成21年4月1日現在)		

2 収支の状況

単位: 千円

項目	年度/施設別	19年度(決算)		20年度(決算)		21年度(予算)	
		体育館	武道館	体育館	武道館	体育館	武道館
収入	県支出金(体育館+武道館)	96,981		96,981		95,000	
	使用料・手数料	25,568	6,252	26,261	6,436	25,700	6,300
	その他	90	0	0	0	3,303	195
	収入計(体育館+武道館)	128,891		129,678		130,498	
支出	管理運営費	62,665	15,817	55,554	13,345	63,261	16,241
	人件費	36,766	7,812	44,309	7,928	42,742	7,654
	その他	2,989	377	3,468	1,363	600	0
	支出計	102,420	24,006	103,331	22,636	106,603	23,895
	支出計(体育館+武道館)	126,426		125,967		130,498	

3 利用状況

	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)
①年間利用者数(単位: 人)	162,641	188,611(マスターズ・障害者大会を含む) 184,841	185,000
②利用者意見等の反映	○利用者の意見や要望を把握するために「ご意見箱」を設置するとともに、スポーツ教室参加者対象にアンケート調査を行い、ニーズの把握に努めた。 ○第三者機関である「運営企画委員会」を開催し、利用者ニーズへの対応や業務改善に努めた。		
③その他特記事項	意見等の数: H19年度101件 → H20年度39件		

4 平成20年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○法令・事業計画書・仕様書・協定書の内容を遵守し、適正な施設管理が行われた。 ○業務に必要な職員を適正に配置し、特にプール監視の強化により利用者の安全確保に努めた。
②利用者サービスの維持向上の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページによる情報発信や広報誌の発行等により、利用者の確保に努めた。 ○利用者へのサービスとして、備品等用具の準備などを積極的に行った。 ○マナー研修の実施、利用時間延長(プール8:30～20:30→8:30～21:00)等により、利用者の視点に立ったサービスの提供に努めた。
③利用者実績	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者数は、昨年の実績を大きく上回った。(利用者の視点に立ったサービスの提供に努めた。) * H19年度実績: 162,641人 → H20年度実績184,841人(+22,200人): マスターズ、障害者大会を除く うちプール+9,128人、主競技場+12,218人 * 当初目標比較(168,000人) +16,841人: マスターズ、障害者大会を除く
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ○収入について ・H20年度利用料金収入はH19年度と比較して878千円の増加であった。 ○支出経費について ・H20年度支出は、H19年度に比べ911千円増加した。
総合評価	<p style="text-align: center;">三年間を通じて利用者サービスの向上に努めた結果、平成20年度の目標の利用者数に達しており、これまで利用促進に取り組んだ成果が現れたものとして評価される。</p>
A	

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの